



○独楽

この漢字で表記することはあまりありませんね。そのため、読めない人も多いことでしょう。私も意識しなければ書けません。コマは回転することによって直立できる不思議な物体ですね。しかし、自然界には回転運動というものはたくさん存在します。巨大なものでいえば地球の自転があります。その回っている巨大な球体の上で我々は生活しています。もっと大きな回転といえば天体の公転があります。私は科学・物理方面はあまり得意ではないので深入りはしないでおきます。ただ、机の上で回っている小さなコマはすぐに回転速度が落ちて止まり、倒れてしまいますが、地球の自転などは人間の歴史などととても及ばない年月、何億万年も同じ速度で今も回っているということに驚くしかありません。

昔、「スーパーマン」という映画の中で、地球を逆に回して時を過去に戻すという場面がありました。スーパーマンは何でもできるのですが、さすがにこのときは「まさかね…」と行ってしまいました。雨を人工的に降らせるとか降らせないとかの研究をしている分野もあるようですが、基本的には人間は自然には逆らえないものだと思います。台風など、来てほしくなくても来る時には来てしまいます。

さてその台風ですが、北半球は反時計回りです。進路の東に位置する地方の方が被害はひどくなります。このたびの15号では千葉県に被害が広がりました。南半球では時計回りだそうです。これは地球の自転との関係だそうです。これらは知識の受け売りですが、私たちの周りにおける回転運動はその方向性に何らかの自然の決まりがあるということが分かります。このあたりから始まって私の頭の中ではさまざまな疑問がわいてきます。コマは左右どちらに回した方が長く回っているのか？陸上競技のトラック種目はなぜみな反時計回りなのか？野球の右打者と左打者ではどちらの打球が強いのか？でも、左打者が打つ時の体の回転は時計回りだな…。どんどんとたわいもない思考に陥ってしまいます。陸上トラックを反時計回りに走るのは心臓が左（自分から見て）にあるからという説があることをどこかで聞いたことがありますが、本当でしょうか？クイズ番組の世界になっていきそうですが、正解があれば知りたいものですね。（調べてみると、諸説あるが決定的な根拠はないそうです。）私は以前趣味でスケートをしていましたが、どのスケート場も反時計回りでした。そのため前進の右カーブは上達しにくかったです。休憩ごとに方向を変えればよい練習になるのにと私は思っていました。追記：後進（バック滑り）は右左の先入観（？）がないためか、どちらも同じように滑ることができました。

○自校自賛

こども学科1年生の授業で色彩学習を行いました。回転混合の確かめとしてコマを作りました。写真のように展示していますので、ご来校の際には自由に回して遊んでみてください。回り方や色の混ざり方を楽しんでみましょう。

「ベンハムの独楽」は白黒でデザインされていますが、回すといろいろな色が見えてきます。回転速度によっても違う色が見えます。

「ブンブンコマ」は熱中すると指が少し痛くなります。ほどほどに…。

